

新型コロナウイルス感染症対策に係る 熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況や保健医療の状況等を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは、**レベル2**とします。

1 リスクレベル判定に関する指標と事象

指標	前週（12月14日）	今週（12月21日）
最大確保病床使用率	69.3%	77.8%
最大確保重症病床使用率	15.2%	21.2%

医療機関クラスター頻発のため、コロナ病床以外にコロナ患者が入院している場合も多く、そうした事例を除いた実質最大確保病床使用率は12月21日時点で55.8%（前週：49.8%）。

事象	12月21日
新規感染者数	22,859人（前週：16,312人）
感染の傾向	増加傾向にある（前週：増加傾向）
外来のひっ迫	患者は増加しているが、第7波時と比較すると少ない。
医療従事者の欠勤	増加傾向と考えられるが、第7波時と比較すると少ない。
社会経済の状況	欠勤者は増加傾向にあると考えられるが、社会インフラへの影響は限定的。

感染者数が非常に多い状況で、実効再生産数も1.2程度であり、増加傾向が継続している。保健医療の負荷の状況や社会経済活動の状況に、感染拡大による影響が徐々に強まっている。

注意を要するが、総合的に判断し、リスクレベルは**レベル2**とする。

前回（12月16日発表）	今回（12月23日発表）
レベル2	レベル2

2 感染拡大の注意が必要な地域

※人口10万人当たり週感染者数推定値が500を超え、増加傾向にある地域

注意が必要な地域※	熊本市、有明、菊池、阿蘇、御船、宇城、八代、水俣、人吉、天草保健所管内
-----------	-------------------------------------

3 県民の皆様へのお願い

本県の新型コロナウイルス感染症の感染状況は増加傾向が継続しているほか、季節性インフルエンザも流行期に入りました。年末年始には人と人との接触も増えることが予想されますので、引き続き基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。各家庭・事業所等においては、特に換気の徹底に御留意ください。

また、希望される方は早めのワクチン接種をお願いします。県においては県民広域接種センター（グランメッセ熊本）を開設していますので、夜間・休日も含めた検討をお願いします。

陽性となった場合、発生届の対象とならない方（若い方など重症化リスクが高くない方）は、御自身の療養期間を御確認いただくとともに、万一症状が悪化した場合のスムーズな対応のため、熊本県療養支援センターに陽性者登録を行っていただくようお願いします。

熊本県 健康福祉部健康危機管理課
問合せ先：錦戸、横山、中満、吉岡
電話：096-333-2239
（内線）5931、5933

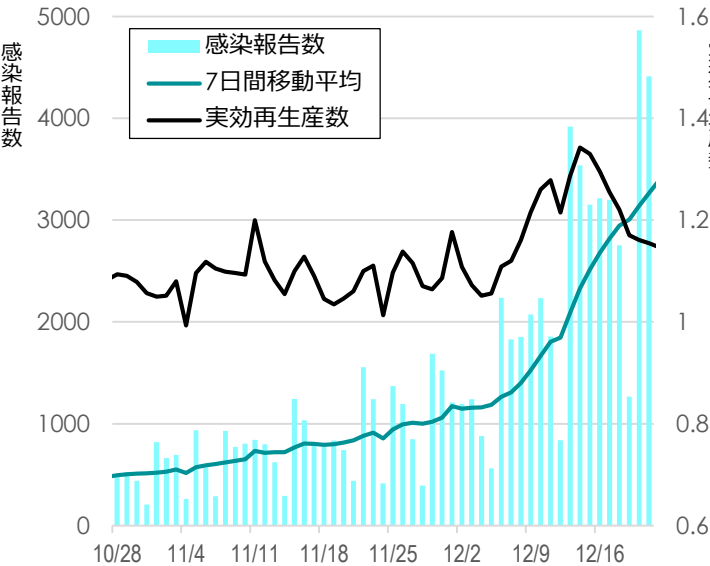
熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和4年（2022年）12月23日】

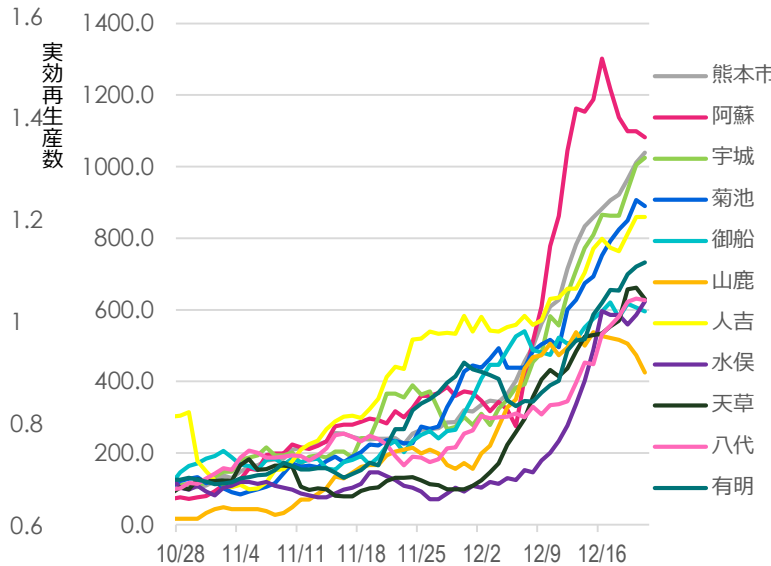
1 熊本県における現状認識

(1) 新規感染者数の状況

本県の感染報告数及び実効再生産数



地域ごとの人口10万人当たり週感染者数推定値



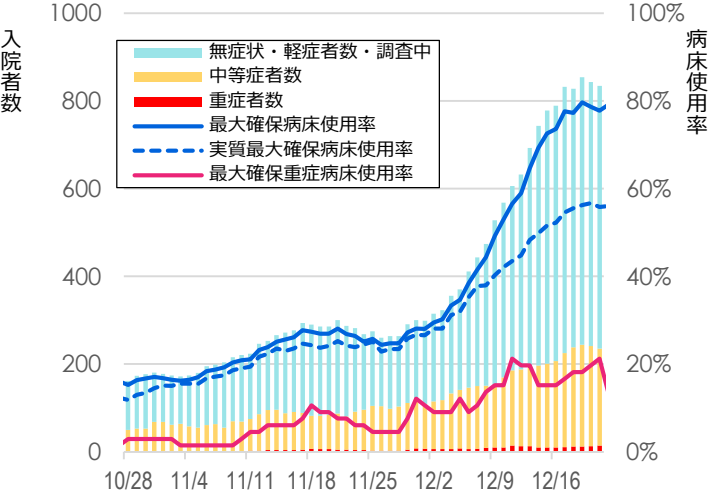
各医療機関及び熊本県療養支援センターから報告があった事例の合計。
実効再生産数はSerial interval=3.5(標準偏差2.4)の分布を用い、Coriらの方法で推定。

9月26日以降に発生届出があった事例の居所集計及び各保健所管轄地域の65歳以上の人口に基づく推計値の推移（7日間移動合計）。熊本市保健所管内は報告日別、その他の保健所管内は陽性確定日別に集計。各保健所管内の65歳以上人口は、国勢調査(2020年10月1日現在)による。

週の感染者数は22,859人と、先週の16,312人と比較し増加が見られている。実効再生産数は1.3程度まで増加し、その後1.2以下まで低下。概ね全地域において増加が見られている。

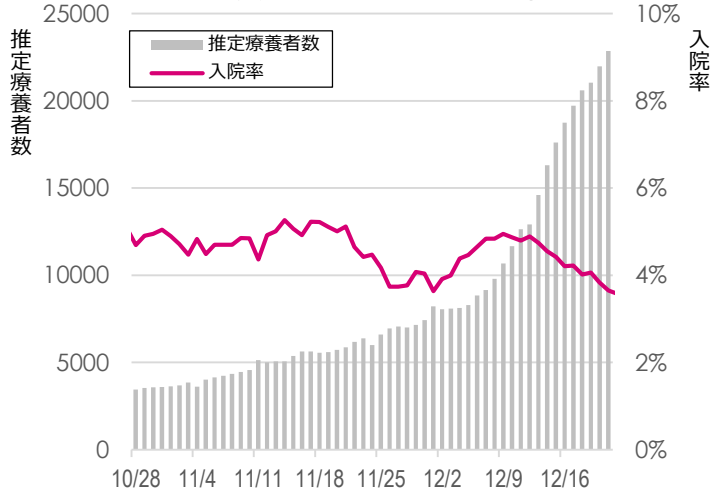
(2) 病床等の状況

入院者の症状別推移



実質最大確保病床使用率は、分子に「入院者数から各医療機関の最大確保病床数を超えた入院者数」を含まない。

療養者数と入院率（推定値）

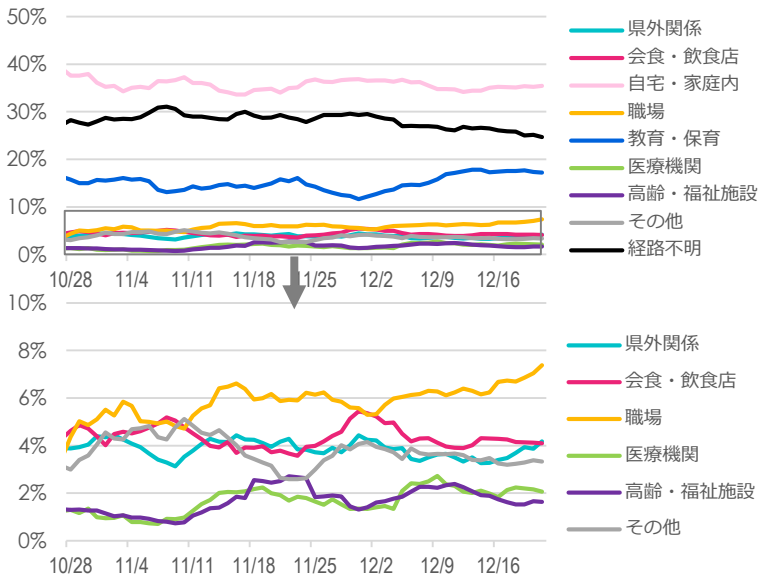


一般的な療養期間である7日間の感染者数を足し合わせ推定。

最大確保病床使用率は、先週の69.3%から77.8%へと増加しているが、直近では横ばい。実質最大確保病床使用率は、60%未満で推移している。医療機関クラスターの影響がやや弱まり、入院率に低下が見られる。

(3) 感染の態様

感染者の感染経路割合推移

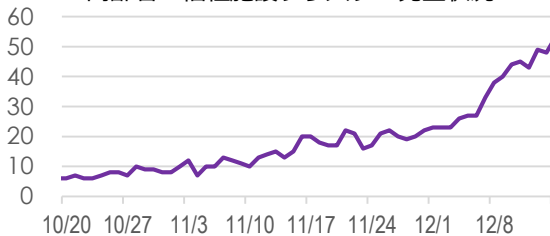


熊本県療養支援センターへの登録時のアンケートから診断日ごと週集計の割合推移。
65歳未満のデータであるため、高齢・福祉施設、医療機関の感染状況は過小評価されている
(当該経路は上記クラスター数推移から推定する)。

医療機関及び高齢者施設クラスター発生状況推移

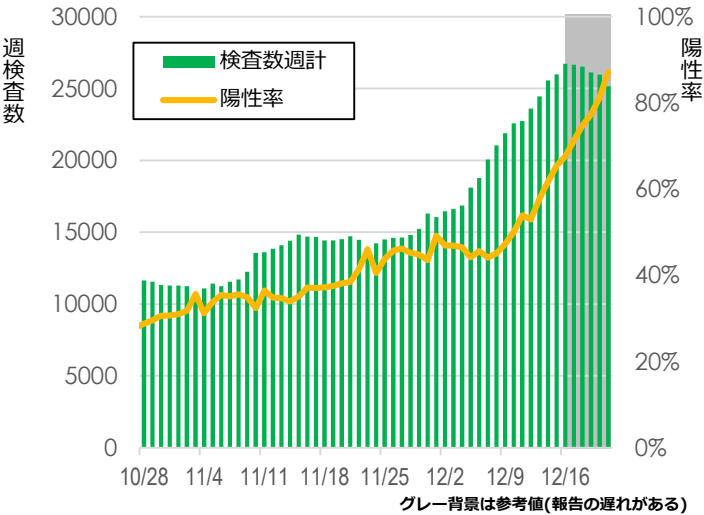


高齢者・福祉施設クラスター発生状況



9月26日以降に保健所が認定したクラスターの、初発患者の確定日の推移
(7日間移動合計)。

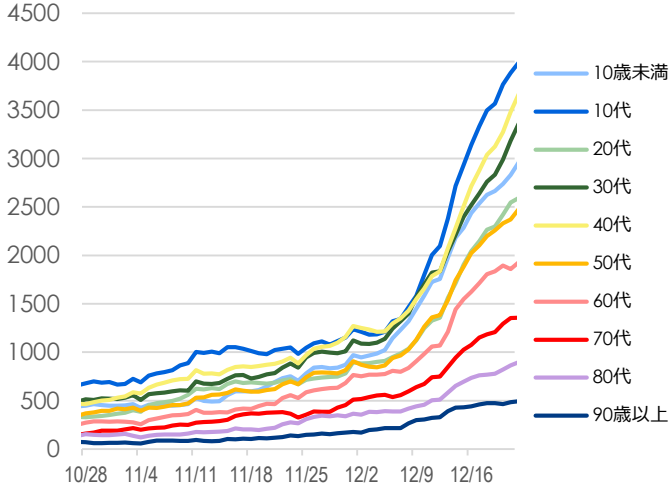
週の検査報告数と推定検査陽性率



グレー背景は参考値(報告の遅れがある)

陽性率は、医療機関と行政の検査で確定した陽性者数を分子、医療機関から報告のあった検査数及び行政の検査数を分母とした比率(セルフチェックは含まない)。報告の遅れ、未報告、みなし陽性の影響で、陽性率は100%を超えることがある。

年齢階級別陽性報告者数推移



各医療機関及び熊本県療養支援センターから報告があった事例の集計(7日間移動合計)。

医療機関クラスターは横ばいだが、高齢者施設クラスターは増加が継続している。検査陽性率が7月末程度の値まで上昇しており、家庭内感染や経路不明感染が多いことを考えると、誰もがどこで感染してもおかしくない状況となっている。また、職場を経路とする感染がやや増加している。

(4) リスクレベル判定

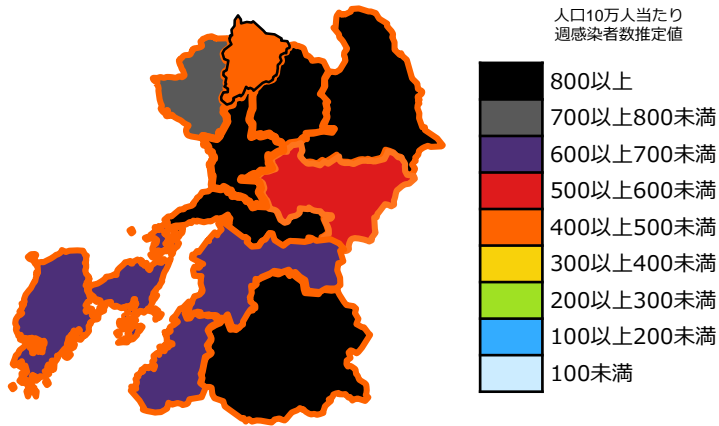
指標	12月21日	レベル1 感染小康期	レベル2 感染拡大初期	レベル3 医療負担増大期	レベル4 医療機能不全期
最大確保病床使用率※	77.8%	—	30%	50%	80%
最大確保重症病床使用率	21.2%	—	—	50%	80%

※ 実質最大確保病床使用率は55.8%

総合的判断で参考とする事象

【感染状況】感染者数や感染の傾向(拡大・縮小)など
【保健医療の負荷の状況】発熱外来のひっ迫や、医療従事者の欠勤状況など
【社会経済活動の状況】職場の欠勤状況や、それによる社会インフラの支障など

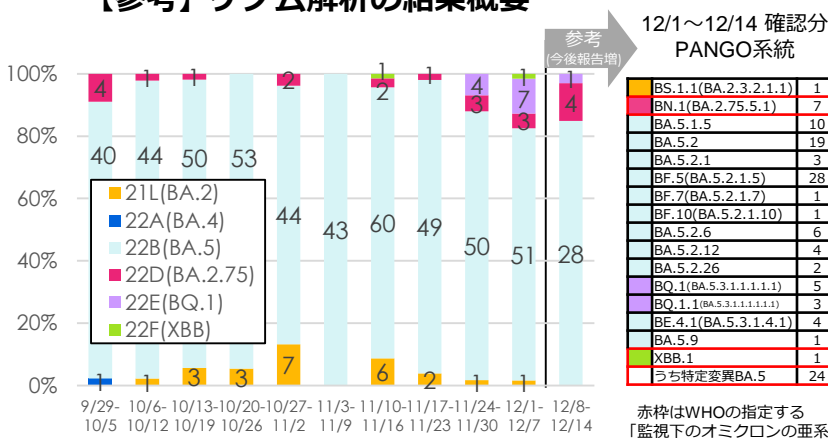
(5) 注意が必要な地域の概況



保健所名	12/15~12/21
	人口10万人当たり週感染者数推定値
熊本市保健所	1039.4
有明保健所	732.1
山鹿保健所	424.7
菊池保健所	889.5
阿蘇保健所	1082.0
御船保健所	595.9
宇城保健所	1025.0
八代保健所	626.8
水俣保健所	623.7
人吉保健所	859.3
天草保健所	630.6

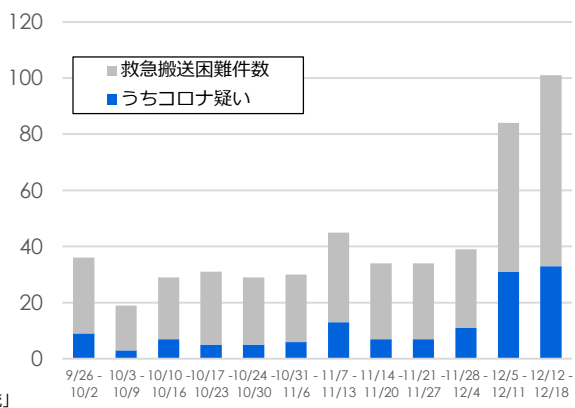
熊本市、有明、菊池、阿蘇、御船、宇城、八代、水俣、人吉、天草保健所管内は、人口10万人当たり週感染者数推定値が500人を超え、増加傾向にあることから、注意が必要な地域とする。

【参考】ゲノム解析の結果概要



PANGO系統について、Nextstrain clade別に集計。結果判明までのタイムラグがあるため、日付が近い値は変動する。

【参考】救急搬送困難件数



WHOが規定する監視下の亜系統が散見されており、BQ.1系統、BA.2.75系統の確認が増加している。救急搬送困難件数も増加しており、今年度最多。

【参考】医療の状況、感染状況に関するデータ

時点	医療の状況						感染状況		
	推定療養者数 ^{※1}	推定入院率	入院者				検査陽性率 ^{※2}	感染経路不明割合 ^{※3}	新規感染者数 今週/前週比
			重症	中等症	軽症	その他			
12月21日	22,859人	3.6%	14人	221人	571人	28人	87.1%	24.7% ^{※4}	1.4
12月14日	16,312人	4.6%	10人	187人	530人	16人	61.7%	26.6%	1.8
12月7日	9,149人	4.8%	7人	143人	287人	6人	44.2%	27.0%	1.2
11月30日	7,424人	4.0%	8人	106人	180人	6人	43.5%	29.3%	1.2
11月23日	6,380人	4.4%	4人	88人	167人	23人	46.0%	28.4%	1.1
11月16日	5,629人	4.9%	4人	87人	175人	11人	37.1%	29.5%	1.3
11月9日	4,452人	4.9%	1人	69人	142人	4人	34.9%	30.6%	1.2
11月2日	3,691人	4.7%	2人	60人	111人	1人	31.8%	28.4%	1.1
10月26日	3,242人	5.2%	1人	46人	119人	2人	27.4%	27.0%	1.0

※1 一般的な療養期間である7日間の感染者数を足し合わせ推定。

※2 医療機関及び行政の検査で確認された陽性者数/医療機関から報告のあった検査件数及び行政の検査数の比。報告の遅れがあることに注意。

※3 熊本県療養支援センターへの登録時のアンケートに回答のあった事例から推定。

※4 12/15~12/21に診断され、熊本県療養支援センターに登録及び回答のあった8,500事例からの推定。

グレー背景は参考値。

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (12月22日現在)

- 熊本県の感染は拡大傾向にあり、最大確保病床使用率も上昇している。一方、発熱外来や社会インフラに大きな影響は出ていないことを考えると、現時点ではリスクレベル2の維持は妥当と考えられる。
- 感染が拡大したまま年末年始に入ることは、できれば避けたかったが、冬季は季節性インフルエンザ等の呼吸器感染症も流行しやすいため、今後もこの時期の感染拡大は繰り返すようになるのかもしれない。
- 年末年始が通常と異なる点は、普段会わない人との交流の増加など、感染が成立しやすい環境が整うことに加え、受診できる医療機関が少なくなり、身近な医療機関で平時と同様の医療が受けられない点にある。
- 重症化リスクが高い方や、そうした方に接する方は、感染しないことが何より大切になる。ワクチンの接種を済ませ、基本的な感染防止対策の徹底に加え、検査をうまく使って感染リスクを下げていただきたい。重症化リスクが低い方は、同じようにリスクを下げる努力をしていただきたいが、仮に感染が疑われる場合は、セルフチェックを行い、陽性の場合は熊本県療養支援センターに登録しておけば、急変時に医療にかかりやすくなるだろう。
- 感染対策の徹底に加え、感染した場合の備えを十分にすることが重要である。

3 県民の皆様へのお願い（12月23日発表）

熊本県リスクレベルは、レベル2です。また、感染傾向は増加傾向です。

1 基本的な感染防止対策の徹底

- ① 場面に応じて、マスク（不織布マスクを推奨。以下同じ）着用
- ② こまめな換気、手洗い・手指消毒
- ③ 発熱時は仕事等を休み、かかりつけ医等に電話相談！（セルフチェックも可）

- ・「新しい生活様式」の実践をお願いします。
- ・マスク着用の基本的な考え方※は次のとおりです。
 - 屋内では、着用（ただし、他者と約2m以上の距離が保て、会話を行わない場合は不要）
 - 屋外では、原則不要（ただし、他者と約2m以内の距離で会話をを行う場合は着用）
 - 重症化リスクの高い方と接する場合や、人混みの中では着用
- ・換気、手洗い、人と人との距離の確保等を徹底してください。
※…特に就学前の子どもは、2歳未満では着用が推奨されないほか、2歳以上であっても周りの大人が子供の体調に注意したうえでの着用が必要。
- ・都道府県をまたぐ移動は、「3つの密」の回避を含め基本的な感染防止策を徹底してください。
- ・旅行は感染対策を徹底し、わずかでも体調に異変があれば控えてください。



©2010 熊本県 くまモン

2 ワクチン接種

- ・オミクロン株対応2価ワクチンは、オミクロン株に対して、従来型ワクチンを上回る効果（重症化予防、感染予防、発症予防効果）が期待されています。
- ・ワクチン接種により、感染したとしても重症化しにくく、周囲にも感染を広げにくくなると考えられ、ご自身の健康はもとより、みなさんの周りにいる家族や友人など、大切な人を守ることに繋がります。
- ・ワクチン接種を希望する方は、早めの接種をお願いします。

ワクチン関係情報



3 医療機関の適正受診など

【適正受診】

コロナに関わらず、**緊急を要さない**と思われる場合は、平日の昼間の診療時間内に受診をするなどの御協力をお願いします。

【薬・食料品・検査キットの準備】

重症化リスクの低い方や軽症の方は、緊急受診しなくても良いよう準備を。
検査キットは、国から承認されたものをご準備ください。

【夜間に救急外来の受診や救急車を呼ぶか迷う場合】

下記への電話相談をお願いします。

子ども医療電話相談事業	# 8 0 0 0	平 日 : 午後7時から翌朝8時まで 土曜日 : 午後3時から翌朝8時まで 日・祝日 : 午前8時から翌朝8時まで
夜間安心医療電話相談事業	# 7 4 0 0	毎 日 : 午後7時から翌朝8時まで

4 検査受検

発熱などの症状がある方

コロナに限らず、感染症に罹患している可能性がありますので、まずは仕事等を休み、周囲の人に感染させない対策を徹底してください。

【症状が軽いことなどを理由に、医療機関の受診を希望しない方】

- ・国から承認された一般用抗原検査キットによるセルフチェックが可能です。陽性の場合には熊本県療養支援センターに陽性者登録を行ってください。陰性の場合も、症状が軽快するまでは十分注意してください。(症状が続く場合や悪化した場合などは、医療機関を受診しましょう。)

【医療機関の受診を希望する方】

- ・かかりつけ医等の医療機関又は発熱者専用ダイヤルに電話相談し、受診してください。

発熱等がある場合



キット陽性の方



無料検査について



症状はないが、感染に不安を感じる方

県の登録を受けた検査機関等において無料検査が受けられる(熊本県民に限る)ため、検査を受けてください。なお、無料検査は当面の間継続することとしています。

5 会食時は特に注意しましょう

- ・会食は、宅飲みを含み、感染リスクを最小化するために、「会食時の感染リスクを下げる4つのステップ」を遵守して実施してください。
- ・感染対策を徹底し、対策がおろそかになるような深酒は控えてください。
- ・感染防止対策が講じられていない飲食店は、利用しないようお願いします。

4つのステップ



熊本県作成 会食時の感染リスクを下げる4つのステップ 令和2年12月3日制定 令和4年10月7日改定

飲酒を伴う懇親会や大人数での飲食、長時間におよぶ飲食等は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まる場面に該当しますが、様々な工夫と一人一人の心がけて、感染リスクを下げることは可能です。
感染リスクを下げる4つのステップをみんなで実践しましょう!

STEP1 予約時に下げる!

- お店を予約する際に、感染防止対策を実施しているお店か確認しましょう。
➢ 感染防止対策を実施しているお店は、ステッカーの掲示等で確認できます。
- 参加者は、なるべく少人数にしましょう。
- 下記のような席の配置は感染リスクの低減に有効ですので、お店と相談しましょう。

席の配置を斜め向かいにする **アクリル板を設置する(換気へ注意)** **テーブルを少人数で使用する**

認定店

STEP2 会食前に下げる!

- 発熱等の症状の有無を確認し、体調の悪い人は参加しないようにしましょう。
- 入店時に手指消毒を行い、マスクを着用したまま、すぐに着席しましょう。

STEP3 会食中に下げる!

- 食事中でも、会話をする際はマスクを着用しましょう。
➢ 食事の時間と会話の時間を分けるなどの工夫が効果的です。
- 大声での会話や席の移動は控えましょう。
- 箸やコップの使いまわしはやめましょう。
- 深酒は控えましょう。アルコールを飲みすぎの人がいたら、ソフトドリンクを勧めましょう。
- 飲酒の影響で参加者の気分が高揚し、マスク無しの会話や大声での会話が行われるなど、感染防止対策が実施されない状況になってしまったら、早めにお開きにしましょう。



STEP4 会食後に下げる!

- 帰宅直後の手洗いなどにより、家庭内にウイルスを持ち込まないようにしましょう。
- 会食後に発熱等の症状が出た場合は、仕事を休み、かかりつけ医等に電話相談又は承認された検査キットによりセルフチェックを行いましょう。万一陽性の場合は、幹事等に連絡し、参加者と情報共有しましょう。

6 飲食店事業者の皆様への要請

【感染対策】

- ・県が示した業種別の「感染防止対策チェックリスト」、国が取りまとめている感染拡大予防ガイドラインにより、十分感染防止活動を行い、それが県民に分かるよう、ステッカー等を掲示してください。

【認証制度】

- ・感染防止対策徹底のため「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」をご活用ください

チェックリスト



認証制度



7 イベント開催

- ・県の「イベントの開催制限について」を参考とし、感染防止対策を徹底してください。
- ・参加人数は、下記の【人数上限】、【収容率上限】の**いずれか小さい方**に制限してください。
- ・感染防止安全計画を策定するイベントについては、イベント開催日の2週間前までを目途に県に感染防止安全計画を提出してください（大声なしの担保が必要）。
- ・感染防止安全計画を策定しないイベントでは、感染防止策チェックリストを作成し、主催者等のHP、SNSなどで公表し、イベント後1年間保存してください。

	感染防止安全計画の策定あり	その他（感染防止安全計画を策定しない）
人数上限	収容定員まで	5,000人又は収容定員50%のいずれか大きい方
収容率上限	100%	大声なし：100%、大声あり：50%



「大声」：通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること。「大声あり」：「大声」を積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントが該当。「大声なし」「大声なし」のエリアが明確に区分される場合：同一イベント等において、「大声あり」、「大声なし」のエリアを明確に区分して開催する場合の収容率の上限は、それぞれ、50%（大声あり）・100%（大声なし）とします。

詳細は熊本県HP「イベントの開催制限について」を御確認ください。

8 その他

事業者

- ・業種別ガイドラインの遵守
- ・テレワークの推進等により出勤者削減への取組み
- ・職場における感染防止のための取組み（手洗いや手指消毒、換気励行、テレビ会議の活用、昼休みの時差取得等）の徹底
- ・三つの密を発生させない取組みへの協力
- ・従業員に対し、療養・待機期間解除後の念のための検査を促すことは控えて

保育所等

- ・保育所等における感染防止のための取組み（職員のマスク着用、手洗いや手指消毒、換気励行等）の徹底
- ・感染状況等に応じて臨時休園等の判断を速やかに行うよう市町村へ依頼
- ・保育所で希望する場合は保育士等に対する集中的検査の実施
- ・市町村の代替保育の実施を支援

学校

- ・文部科学省の「衛生管理マニュアル」に基づく感染防止対策の徹底
- ・感染防止対策の徹底を依頼
- ・部活動において感染防止対策を徹底した上での活動を依頼
- ・小学校で希望する場合は教職員に対する集中的検査の実施

高齢者等施設

- ・従事者にわずかでも症状がある場合、確実に仕事を休ませる体制の構築
- ・オンライン研修等による、感染防止対策の実施
- ・高齢者・障がい者等の施設の従事者に対する集中的検査の実施

その他

- ・保育所の保育士、小学校の教職員、高齢者施設等の従事者等が濃厚接触者になった場合に、早く職場に復帰できるよう検査の実施を支援

県民の皆様へのメッセージ

残念ながら、感染者やその御家族、医療従事者の方々の中に、差別を受け、苦しんでいる方がおられます。新型コロナウイルス感染症には、誰もがいつでも感染する可能性があります。感染された方やその御家族、職場関係の方々に責任はありません。不当な扱いや嫌がらせ、誹謗・中傷などは絶対にないよう、お願いします。

また、県では、基本的な感染防止対策として、マスクの着用をお願いしているところですが、障がいや病気などの様々な事情でマスク着用が困難な方がいらっしゃいます。県民の皆様におかれては、このような様々な事情により、マスクをつけられない方がいらっしゃることをご理解いただきますようお願いいたします。

熊本市の状況と対策

熊本市においては、新規感染者数の増加傾向が続いております。また、医療機関等におけるクラスター等の影響を除いた実質的な最大確保病床使用率も60%台を推移しており、医療提供体制への負荷が強まっております。

高齢者など重症化リスクが高い方を守るためにも、引き続きこまめな換気など感染防止対策の徹底、医療機関の適正な受診など、一人一人のご協力が必要です。

【対策】

- ✓ ワクチン接種の着実な実施
- ✓ 保育所等・小学校・高齢者施設等の従事者に対する集中的検査 及び 同従事者が濃厚接触者になった場合の待機を早期に解除するための検査の支援
- ✓ 保育所等や学習活動、部活動、児童育成クラブ等における感染防止対策の徹底
- ✓ 熊本シティFM・街中モニターを活用した感染予防策に関する広報啓発活動の実施
- ✓ さらなる病床確保に努めるとともに、感染者が発生した高齢者施設等の要請に応じ、医療支援チームを派遣し、感染状況の把握と迅速な感染管理、医療介入を実施

【熊本市からの要請】

- ✓ **基本的な感染防止対策を徹底**してください。(こまめな換気・手洗い・うがい・手指消毒・マスク着用(※))
※…マスク着用の基本的な考え方については、資料5ページをご参照ください。
- ✓ 高齢者や基礎疾患のある方及びその同居家族の感染防止対策を徹底してください。
- ✓ 希望される方は**積極的なワクチン接種**(新型コロナワクチン・インフルエンザワクチン)をお願いいたします。
- ✓ ご自身やご家族が感染した場合に備え、**新型コロナ抗原定性検査キット、解熱鎮痛剤、日用品や食料品などを事前に備えていただく**ようお願いいたします。
- ✓ 症状は無いが、感染に不安を感じる方(熊本県民に限る)については、熊本県が実施している**無料PCR等検査を受検**していただくようお願いいたします。
- ✓ 会食時は県が示している「**会食時の感染リスクを下げる4つのステップ**」を遵守してください。
- ✓ 「**熊本県飲食店感染防止対策認証制度**」を活用してください。
- ✓ コロナに関わらず、緊急を要さない場合は、出来る限り平日の昼間の診療時間内で受診いただくなど、**医療機関の適正な受診**にご協力をお願いいたします。
- ✓ 夜間に救急外来の受診や救急車を呼ぶか迷う場合は、相談窓口(＃8000、＃7400)へご相談ください。
- ✓ 職場において、業種別ガイドライン等を参考に、**感染防止対策の徹底**を再度確認してください。また、テレワークや時差出勤等に協力してください。

本ページの内容の問い合わせ先

熊本市 新型コロナウイルス感染症対策課
問合せ先：岡島・田上・田口・富永
電話：096-364-3311